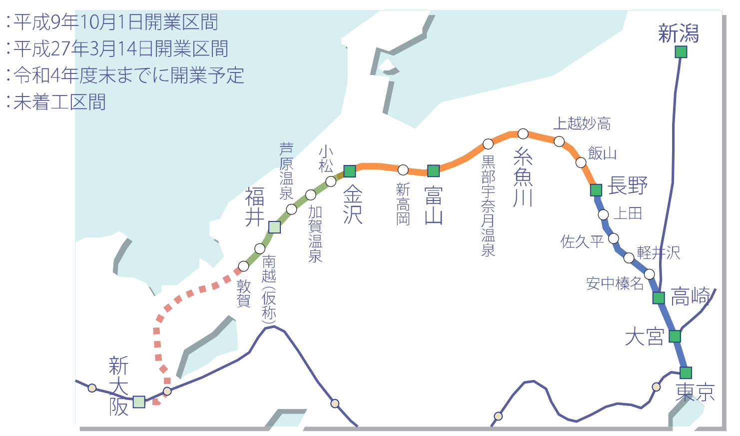
1. 北陸新幹線建設事業

北陸新幹線は、東京から長野や富山、金沢を経由して新大阪に至る延長約700kmの路線です。
関東・北陸・近畿・東海を環状に結ぶ高速交通ネットワークの形成を目指し、全線開通に向けて事業が進められています。
このうち、長野～金沢間は平成27年3月に開業し、JR富山駅は新幹線駅として再整備されました。
新幹線開業により、都市間の移動時間は大幅に短縮され、富山～東京間は最速２時間８分で結ばれています。

建設主体：
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

■北陸新幹線ルート図

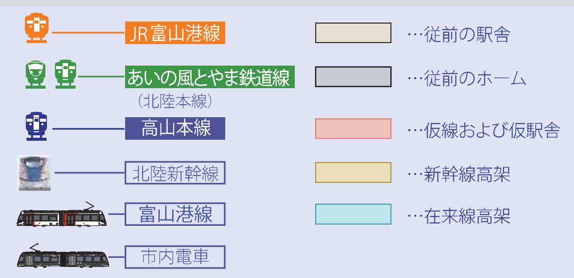


	これまでの時間距離	整備後の時間距離	短縮時間
東京～富山	3時間11分	2時間08分	約1時間

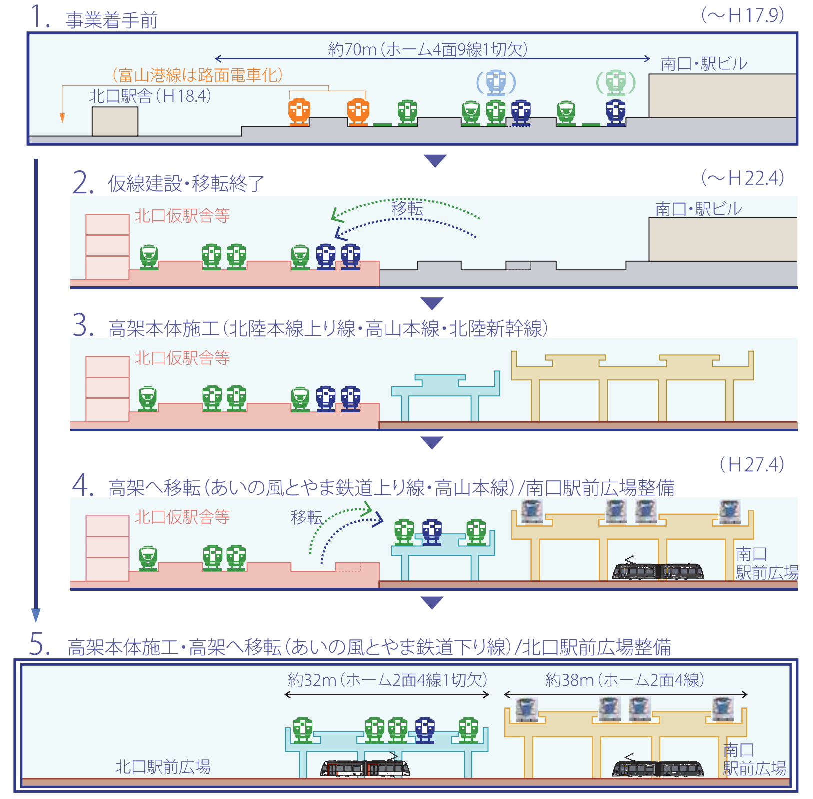
2. 富山駅付近連続立体交差事業

県都富山の玄関口にふさわしい交通拠点の整備や、鉄道によって分断されていた南北市街地の一体化を目的に、在来線を高架化する連続立体交差事業を行っています。
整備にあたっては、富山港線の路面電車化や新幹線整備に合わせた施工を行うなど、限られた用地の中で段階的に進めています。また、事業のコンパクト化により、南北の駅前広場空間の拡充を実現すると共に、コストの縮減を図っています。

対象路線及び事業延長：
あいの風とやま鉄道線　L＝約1.8km
JR高山本線　L＝約0.7km
富山地方鉄道本線　L＝約1.0km
事業主体：富山県



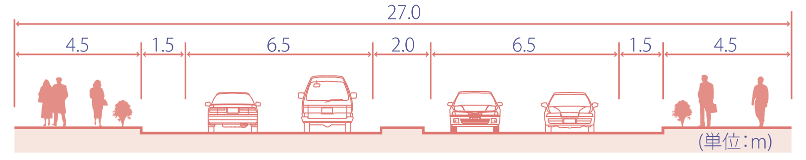
■施工方法



3. 関連街路整備事業

連続立体交差事業による在来線の高架化に併せ、慢性的な交通渋滞が発生している道路の、拡幅・整備を行います。
これにより、渋滞が解消されるとともに、歩行者・自転車の安全性と利便性の向上が実現されます。

■(都)牛島蜷川線・(都)堀川線　断面図



	現状の幅員	将来の幅員	
(都)牛島蜷川線	W=17.5m	W=27.0m(4車線)	鉄道交差道路
(都)堀川線	W=19.5m	W=27.0m(4車線)	鉄道交差道路

その他、(都)牛島本町線、(市)区画街路第503号線の拡幅・整備を実施

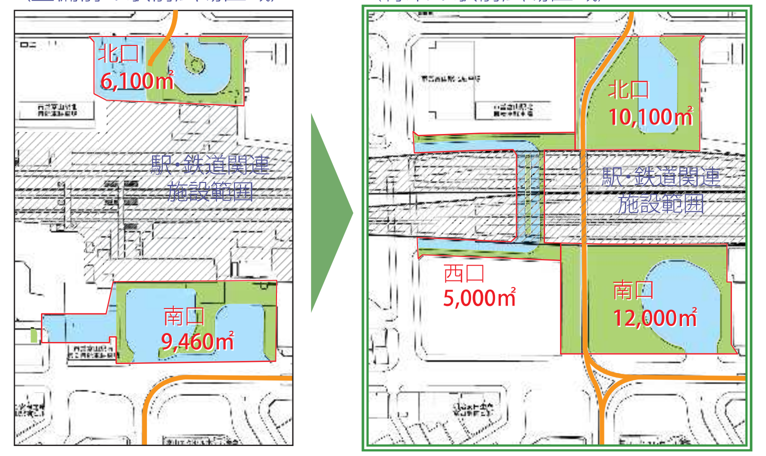
4. 富山駅周辺地区土地区画整理事業

富山駅を中心とする約10.4ヘクタールの区域で土地区画整理事業を実施し、南口および北口駅前広場の再整備や、西口交通広場、都市計画道路富山駅南北線などの整備により、都市交通の利便性向上と土地の高度利用を図り、拠点性の高い都心の形成を行います。

面　積：約10.4ha
(都)富山駅南北線【新設】　幅員　W=23.0m
(都)富山駅横断東線【新設】　幅員　W=12.0m
事業主体：富山市

駅前広場等の整備

■駅前広場区域の拡大
〈整備前の駅前広場区域〉　〈将来の駅前広場区域〉

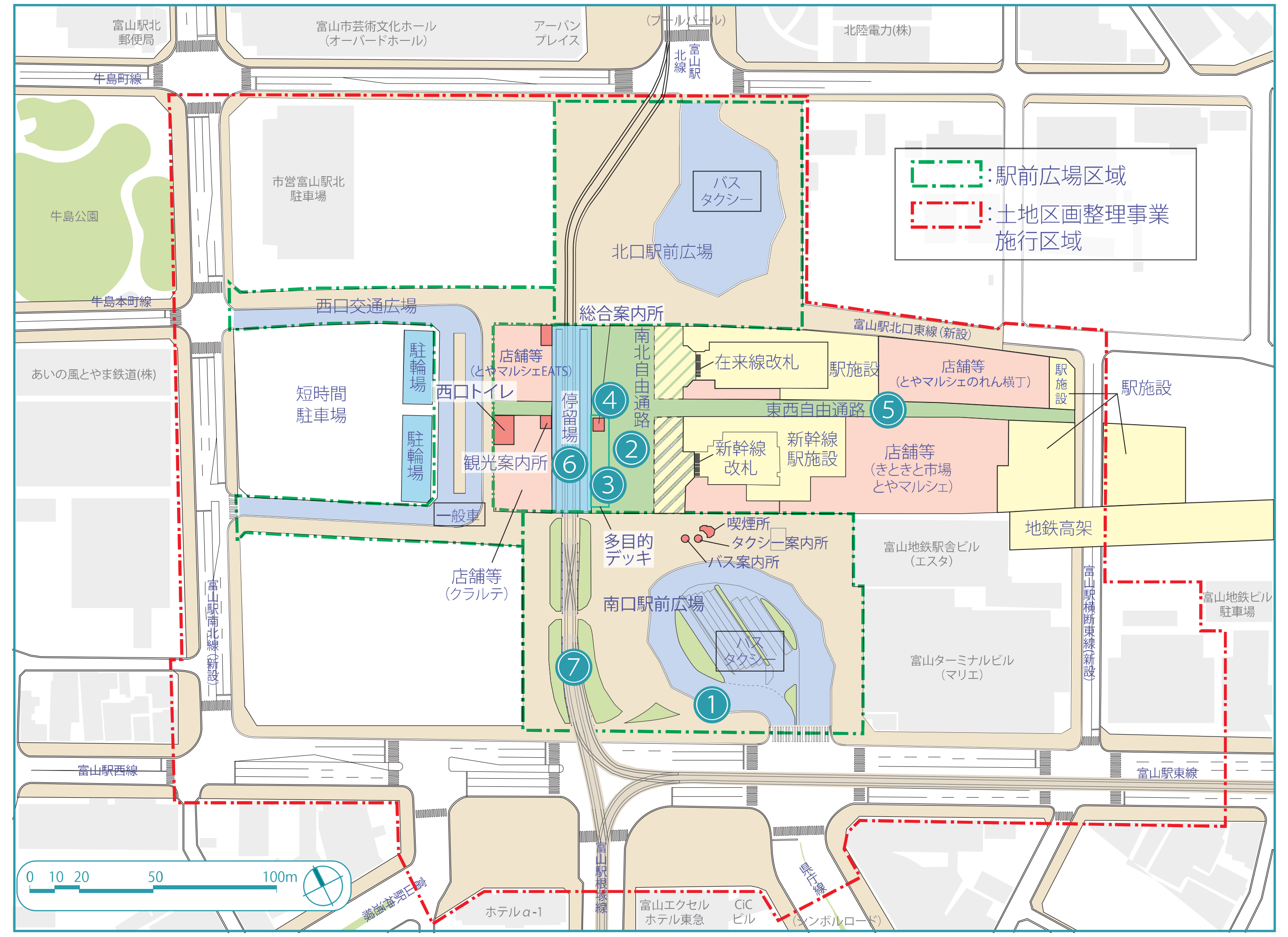


駅前広場等の車両乗入れは、一般車を西口高架下に分離し、南口と北口はバス及びタクシーなどの公共交通に限定することで、交通結節機能の強化とゆとりある歩行者空間を確保します。これにより、広場規模は現状の15,560㎡から27,100㎡に拡大されます。

■南口駅前広場

南口駅前広場では、バス・タクシー乗り場を機能的にレイアウトし、特徴的な曲線を持つシェルターを配置しています。また、広場内には、バス・タクシー案内所や喫煙所を設置し、利用者の利便性向上を図ります。

【富山駅周辺地区平面図（完成時）】



5. 自由通路整備事業

新幹線及び在来線の高架下空間を利用して鉄道利用者以外の方でも通行できる自由通路を整備します。地平レベルでの歩行者通路であるため、南北市街地の行き来や富山駅での公共交通の乗換えがわかりやすく安全に行えるようになります。
新幹線改札口正面の床にはフロア・シャンデリアを設置し、その先にはLRT空間が見通せます。また、柱部分にはアルミや県産杉を用い富山ならではの空間を演出しています。

〈南北自由通路〉
延長　約75m　幅員　約25m
高さ　新幹線側約7.0m　在来線側約5.0m
〈東西自由通路〉
延長　約180m　幅員　約6m
事業主体：富山市

南北自由通路

■南北自由通路（南口駅前広場側より望む）

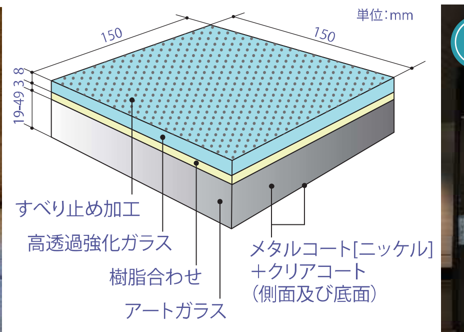
柱の南北面はほっとできる空間を演出するため県産杉を、東西面はＬＲＶを引き立てるためシャープな印象のアルミを壁面に用いています。

■多目的デッキ

待ち合わせや休憩、時にはイベントにも使えるスペースです。新幹線高架の高さを活かして２階相当の高さに設置しています。

■フロア・シャンデリア（新幹線改札側より望む）

〈ガラスブロック模式図〉



通路の床面に、富山の工芸ガラスブロックを埋め込み、天井から多彩な光を当て、反射光によってシャンデリアのような華やかな雰囲気を演出します。

■総合案内所

富山駅や周辺施設の案内、観光・イベント情報の提供、乗り換え案内等、まちのコンシェルジュ的な役割を担います。

東西自由通路

■東西自由通路

新幹線側の壁面は県産杉で印象的に仕上げました。ガラス作品やポスターを展示し楽しめる空間としています。

■西口トイレ

東西自由通路に面した公衆トイレには、多機能トイレの他、授乳やおむつ替えに利用できるベビーケア室を設置しています。男女トイレの入口では富山らしくガラス作品による案内をしています。

6. 路面電車南北接続事業

富山駅南側の富山地方鉄道富山軌道線（市内電車）と北側の富山ライトレール富山港線を、新幹線・在来線高架下に新設する停留場で接続します。富山市の推進するＬＲＴネットワークのシンボルとして整備を進めています。

延　長：約250m
幅　員：約15.5m
事業主体：富山市、富山地方鉄道（株）
富山ライトレール（株）

高架下軌道空間

■高架下停留場（南口駅前広場側から望む）

新たな停留場の東西の壁面にガラスを用いることでＬＲＶ（次世代型低床車両）のショーケースのような空間を表現しています。柱にアルミ、床にモノトーンの自然石を用い、シンプルなデザインによりＬＲＶを引き立てる空間としています。

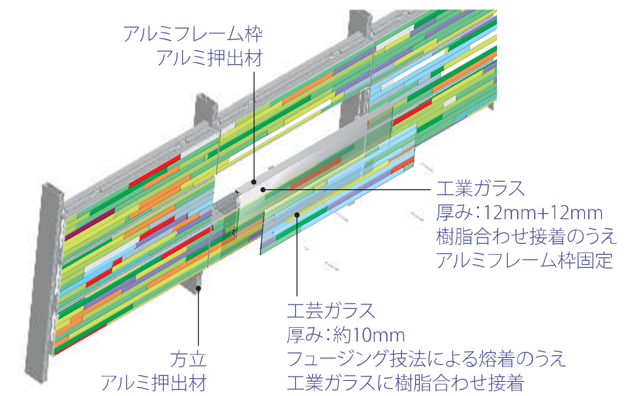
■高架下停留場（南北自由通路から望む）

新幹線や在来線の改札から自由通路を抜けて、雨や雪を気にすることなく路面電車に乗り換えることができます。停留場が高架下にあるため、だれにでもわかりやすく使いやすい施設となっています。

■トランジット・ライティング・ウォール

停留場の西側壁面には、工芸ガラスを特別なアルミサッシュによりパネル化したアートガラスを設置しています。パネル背後のLED照明による演出など、富山の大自然を表現しています。

〈アートガラスパネル模式図〉



南口駅前広場軌道空間

■軌道空間と南口駅前広場

南口駅前広場区間は、乱横断防止と環境への配慮から軌道両側に緑地帯を整備しています。架線柱の連続により、南北の軸線を強調し、南北接続を象徴するデザインとしています。

■南口駅前広場

南口駅前広場の樹木は、旅立ち、迎え、別れ、出会いの場となる富山駅をより印象深い場所とするため、多くの人に愛される「桜」を14本配置しています。このうち３本は、ワシントンＤＣ、ポトマック河畔の「日米友好の桜」の枝を日本で接木し育てた「里帰り桜」を植樹しています。